上毛新聞

発行所（〒371-8666）前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
電話　市外局番（027）
（編集）254-9933　（広告）254-9944
（販売）254-3131　（事業）254-9955
（印刷）254-9985　（出版）254-9966
（メディア）254-9881　（発送）254-9984
（総務）254-9977　（総合）254-9911
© 上毛新聞社　2007年

おんせんまんじゅう
本家ちちや
草津温泉　電話〇二七九（88）二〇三一

読者センター
☎ 027-254-9922
FAX 027-251-4334
Eメール houdou@jomo-news.co.jp
群馬のポータル
http://www.raijin.com/

県議会に県

予算事前説明を復活

協調路線鮮明　なれ合いに警戒も

県は二十九日、自民党県連の政務調査会で編成中の九月補正予算案について説明した。県執行部と県連が緊張関係にあった今年一月の本年度当初予算編成時には、県側が事前に詳細な説明をせず、結果として予算が修正される異例の事態となっていた。県議会各委員会の調査活動にも、理事や担当部門の課長が積極的に参加するようになり、大沢正明知事の「対話と協調」路線が鮮明になっている。ただ、議会内には、なれ合いを警戒する声もある。

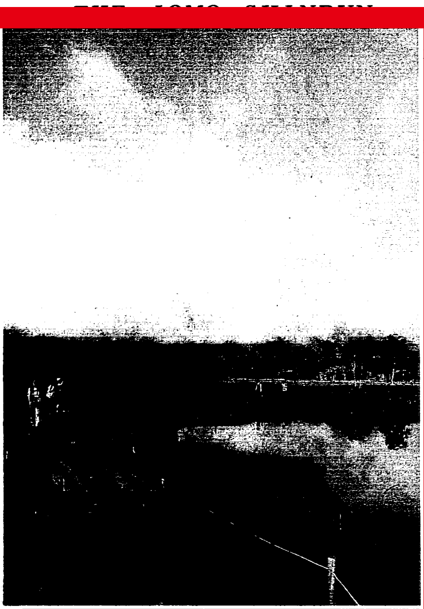
政調会では、執行部が局ごとに約三十分ずつ時[illegible]に要求している事業の目的や予算額などについて[illegible]戻った。これを受けて、自民党県連は要望事項を[illegible]大沢知事に申し入れる。

予算の事前説明復活に[illegible]は「県議は地域の代表であり、地域の要望や情報を持っている。大沢知事からは県民の声をよく聞いて要望をまとめるよう言われている」と説明。福島金夫総務担当理事は「県議会と議論を深める[illegible]めておく必要がある」と指摘、他会派にも説明する用意があるという。

自民党県連の金子泰造幹事長は「ここ二年ぐらい執行部と党幹部がいびつな関係で、議会軽視の中で政策が立案されていた」と振り返り、「きょうは明るい雰囲気だった。ただ、なれ合いにならないように気を付けたい」と述べた。

一方、他会派は冷静な反応だ。第二会派のフォーラム群馬の黒沢孝行代表は「これまで県は予算の復活折衝などで自民党[illegible]声だけを聞いてきた」[illegible]指摘した上で「ほかの[illegible]派とも同様に協議する[illegible]

今春の改選以降、県議会で自民党県連と対決する場面が目立ったスクラム群馬の岩上憲司代表は「政調会が県民のために役立つのか、ただのなれ合いなのかすぐには答えは出ない。今後を見ていく」として静観する構えだ。



尾瀬国立公園きょう誕生

尾瀬国立公園がきょう三十日、誕生する。尾瀬が日光国立公園に指定されてから七十三年。独立した新公園として尾瀬は新たなスタートを切る。

二十九日早朝の尾瀬ケ原。未明から降り注いだ雨がやみ雲が切れると、池塘（ちとう）の水面の青空が、湿原の緑を背景に鮮やかに映えた＝写真。時折通り過ぎる風はすでに肌に冷たく、新公園誕生のにぎわいが過ぎるころ、緑一色だった尾瀬ケ原は黄色に色づき始め、あっという間に秋が訪れる。

尾瀬再考　国立公園化に寄せて　①

分離・独立

個性明確化で存在感を

前国立公園協会理事長　瀬田信哉氏

日光国立公園から尾瀬地域を分離・独立し、[illegible]福島県の会津駒ケ岳などを編入する尾瀬国立公園。現地保護運動が定着していることなどからも、二十一世紀の国立公園のモデルケースとして注目される。独立に伴いどんな変化がもたらされるのか。地元や自然保護団体、植物学者ら尾瀬に関わりの深い人に、新公園の展望や課題を聞いた。

―日光国立公園の一部だった尾瀬は、国立公園が分離・独立する初のケース。国立公園行政の転換点とも言えそうだが、どんな背景があったのか。

世界遺産に人気が傾く中、国立公園の存在感が薄らいできて、それを打破したいという思惑があった。そのためには、いろいろな個性がごちゃまぜになった今の国立公園ではなく、自然の姿や特徴が一定で分かりやすい地域を線引きして、指定してはどうかという議論があった。尾瀬はそれが形になった第一号だ。

―当初、尾瀬保護財団は日光国立公園の名称に尾瀬を入れるよう要望していたが、急に分離・独立になった。

一昨年の尾瀬サミットで、私は国立公園協会理事長の立場で「もう連名や併記式の名称は困る。分離し[illegible]」と意見を述べた。これに佐藤栄佐久福島県知事（当時）と小寺弘之知事（同）が賛同してくれた。感謝するべきはあの二人。知事の尾瀬への気持ちがトップクラスだったからいろいろな事を決められた。

―国立公園はなぜ人気がないのか。

数年前、大学の観光学部の学生に「国立公園に行ったことがあるか[illegible]たことがない」と答えた。ところが実は上高地や尾瀬に行っていた。どこが国立公園か分かっていなかったということだ。一方で彼らは米国のイエロー・ストーンやキン[illegible]は国立公園と認識していた。公園として一定の個性があるし、入園料も意識に残る要因かもしれない。

―存在感を高めるためには、公園の個性がはっきりしていることが必要ということだろう。

この大学のアンケートでは釧路湿原国立公園だけ際だって認知度が高かった。自然の姿と名称が一体的だからだ。フランスの国立公園も目的がはっきりしているからこそ存在感がある。尾瀬も新たに編入した福島県の会津駒ケ岳や田代山などを含めて自然の姿が似ていて、強いアイデンティティーを持ち得る。残った日光国立公園も個性のあるいい公園だ。

―分離・独立の動きは今後も続くだろうか。

なかなか難しいとは思うが、尾瀬が第一歩を踏み出した意味は大きい。そもそも日本の国立公園は、自然の姿を公園名にするより、指定運動に応えて、地域名称を公園名にしてきた経緯がある。だから秩父多摩甲斐、大山隠岐、霧島屋久など連記式が多い。霧島と屋久は全然違うものだし、世界遺産になっていることを考えると、屋久国立公園も実現の可能性は高いだろう。

―そうした動きが出た時に、取り残される部分が出てくる問題をどう解決するか。

霧島屋久の例を取ると、桜島はどうするか。切り捨ててしまうのか。私はこの際、別の制度を考えてみればいいと思う。国立景勝地や国立休養地などの形を新たに設けて指定する。米国で最小の国立公園は二千二百㌶余り。三万㌶の最低面積の基準もこだわらなくてもいいのではないか。

―尾瀬国立公園の今後をどうみているか。

利用者の利便性を差し置いても、よりエコロジカルな利用が求められるだろう。幸い尾瀬では「ごみ持ち帰り運動」に象徴されるように環境保護の意識が成熟している。そして尾瀬保護財団があり、尾瀬サミットがある。こうした土壌があるから、分離・独立という画期的な手段も取れた訳だが、今後もそれらが新公園を支える鍵を握る。

「国立公園行政において尾瀬が分離・独立した意味は大きい」と語る瀬田さん

1938年９月、大阪市生まれ。厚生省（当時）に入省し、阿寒、南アルプス、中部山岳の国立公園レンジャーなどを歴任。92年環境庁官房審議官で退官。自然公園美化管理財団を経て、2002年から06年まで国立公園協会理事長。北大農学部卒。

紙面ガイド

強制連行訴訟で請求棄却 ⑲
第2次大戦中、本県に強制連行され労働を強いられたとして、中国人とその遺族46人が国と大手ゼネコンに対し総額4億6440万円の損害賠償と謝罪を求めた訴訟の判決が前橋地裁であり、小林敬子裁判長は原告の請求を棄却した。

「ポスト京都」構築で協力（2）
救急搬送先決まらず流産（3）
タリバンが人質12人解放（5）
東証、一時1万6000円割れ（6）
「開かずの踏切」を解消（18）
殺人容疑で逃走の男逮捕（19）

都心に情報発信拠点

県　企業誘致へセミナー検討

県は大沢正明知事が知事選のマニフェストで柱とした物産品・観光・ビジネスのアピール拠点「群馬総合情報センター」の東京都心への設置や、企業誘致に向けたトップセールスなどの施策の具体化に着手した。二十九日に開かれた九月補正予算に関する自民党県連の政務調査会で、担当部署が一億円のセンター設置費用など、予算要求の概要を説明した。

情報センターは、本県の物産品、観光、UターンやIターンなどに関する情報発信基地として設置する。現在、東京駅八重洲口前にある群馬観光物産プラザの機能を強化、進出企業や移住希望者のサポートも担う。

企業誘致に向けたトップセールスでは、企業立地セミナーを検討。首都圏に本社か本社機能を持つ六千社に参加を呼び掛ける。都内で年度内の開催を予定。百社の参加を見込んでいる。高速交通網の充実など本県の優位性をPRするプレゼンテーション、本県進出企業による事例発表、個別相談会などを計画している。

全国育樹祭　10年秋に本県で

全国育樹祭が二〇一〇年秋、本県で初めて開催[illegible]れることが二十九日、[illegible]京で開かれた国土緑化[illegible]進機構の理事会で決ま[illegible]た。これまでの例では皇太子同妃両殿下のご臨席の下、式典行事などを行う。開催場所などは今後、決定する。

本県は全国植樹祭を一九五一年と九八年の二回開催しているが、全国育樹祭の開催は初めて。

全国育樹祭は七七年以降、全国植樹祭を開催した都道府県で持ち回りで実施。全国から七千人程度が参加する。同機構と開催都道府県が共同運営し、樹木の手入れなど各種イベントを通じて森林・緑への愛着を深める。式典では、過去二回の全国植樹祭で天皇皇后両陛下が植えられた樹木を、皇太子同妃両殿下が手入れされる「お手入れ行事」のほか、参加者による枝打ち作業などの「育樹行事」が想定される。

全国育樹祭は、今年二月の県議会二月定例会で小寺弘之前知事が誘致を表明していた。

片品村

30日を「尾瀬の日」に

記念行事　文学賞や都内イベント

片品村は二十九日、尾[illegible]国立公園が誕生する三[illegible]日を「片品村尾瀬の日」[illegible]制定することを決め[illegible]来年八月までに条例[illegible]し、関連事業を検討す[illegible]。また、村民から募集[illegible]ていた記念行事とし[illegible]尾瀬文学賞の創設や都内でのPRイベントなどを実施する。

「尾瀬の日」制定は三十日七時半に、同村内の防災無線で千明金造村長が宣言する。千明村長は「環境保全や自然保全としての意味を持たせた記念日として祝いたい」としている。

誕生記念行事は村民から募った十七件のアイデアの中から七つのイベントを選んだ。九月十五日に東京・築地市場と浅草で「尾瀬フェスティバル」を開き、尾瀬の郷・片品村をアピール。尾瀬トマトやトウモロコシなどの村産農産物も都民に紹介する。

十月六日には同村で記念映画祭を開催するほか、昨年度から始まった村の演劇スクール「オゾン・シアター」の記念公演を十二月一日に行う。

来年度は、詩、短歌、俳句を公募して尾瀬文学賞を創設。村内外のコーラスグループなどを招いた音楽祭も予定している。

経産政務官に　荻原氏内定

きょう正式決定

荻原健司氏

政府、与党は二十九日までに、安倍改造内閣の発足に伴う各省の副大臣・政務官人事で、経済産業大臣政務官に参院議員の荻原健司氏（37）を起用することを内定した。三十日の臨時閣議で正式決定する。

荻原氏は「気が引き締まる思い。地域が元気でなくては日本は元気にならない。若さを発揮して地域経済に活力を与えるような政策をいろいろとやっていきたい」と抱負を語った。

荻原氏は一期目。参院文教科学委員、参院少子高齢社会に関する調査会理事、自民党参院国対委員などを歴任した。

●貸ビル／6棟　●有料駐車場／862台
●貸店舗／7店　●管理・仲介・再開発
群馬ビル株式会社
〒371-0014 前橋市朝日町3-1-24
☎027-224-3911㈹ FAX.027-221-5206
宅地建物取引業登録群馬県知事（11）第1225号
www.ebara-honke.jp
第1群馬ビル（群馬県庁前）

三山春秋

粘り気の強い須賀川（福島）特産のナガイモをすり下ろし、だし汁を加える。このとろろ汁をかけたご飯を地元の人は正月三日に食べ、飲酒などで疲れた胃腸を整える。「三日とろろ」といわれるゆえんだ▼〈父上様母上様　三日とろゝ美味しうございました〉で始まる遺書は、一九六四年の東京五輪マラソン銅メダリスト円谷幸吉さんが家族あてに書いた。「美しくて、まことで、かなしい響きだ」と川端康成は評した▼メキシコ五輪を秋に控えた六八年一月、円谷さんは須賀川市の実家に帰り、好物の三日とろろを食べた。家族には「けがの治療に専念する」と明るく語ったが、同月九日に二十七歳の生涯を閉じた▼遺書は現在、円谷幸吉メモリアルホールに展示されている。管理する市職員は「一日平均で三十人ぐらい訪れるが、大半は団塊の世代」という▼東京五輪は「高度成長」の象徴だった。振り返り、立ち止まる人は敗者だったのかもしれない。走れなくなった円谷さんはあの正月、母校の小学校を訪れ、恩師と再会した▼世界陸上で日本選手の苦戦が続いているが、最近は精神的に重圧を感じたり、成績に一喜一憂する選手は少なくなってきているようだ。メキシコ五輪以降必要性が指摘されたメンタルトレーニングの効果なのだろうか。

創刊120年　標語

☆新聞で磨く感性　耕す情操
柳　あや子（高崎）

☆県民に距離の近い上毛新聞
大和　幹男（伊勢崎）

県内きょうの天気

	[illegible]	[illegible]	下仁田	[illegible]	[illegible]
降水確率	90%	100%	70%	90%	70%
31日	50%	50%	50%	50%	60%
1日	60%	60%	60%	60%	60%

2日　60%
3日　40%
4日　40%

きょうの主な都市

都市	降水確率・最高気温／最低気温
札幌	10・26／18
新潟	90・27／21
長野	80・26／22
宇都宮	90・27／21
東京	80・28／24
大阪	60・31／27

降水確率・最高気温／最低気温

▶全国は2面

マツダレンタカー
本店 ☎027-243-7311

？
39
！左の数字は、1日5分のアイドリングストップで年間削減できるCO₂の量（kg）です。
駐車や長時間の停車の際には車のエンジンを切ることで大気汚染物質が削減出来ます。
地球温暖化が叫ばれている今、上手に車と付き合うことが求められています。
もしものときの対策は万全ですか？
ぐんま共済では、交通事故からご家族全員をお守りする
新しい保障の"ファミリー交通傷害共済"をおすすめします。
ご家族を交通災害からお守りするニュータイプ
ファミリー交通傷害共済
月額一家族わずか1,000円の掛金で家族全員をお守りします。
■お一人のご加入で家族全員が対象です。
■最大500万円までの安心保障。
■扶養者が死亡・高度後遺障害に至った場合、育英資金として　子供一人につき毎年20万円を保障。（小学校入学から高校卒業まで）
詳しくは、お電話ください。お待ちしております。
出典：全国地球温暖化防止活動推進センター ホームページより
ぐんま共済はプライバシーマークを取得し、組合員・契約者様の大切な個人情報の保護に努めています。
群馬県火災共済協同組合　群馬県商工共済協同組合
人と明日へ、幸せ発信。
ぐんま共済
群馬県火災共済協同組合
群馬県商工共済協同組合
本　部／前橋市石倉町4-9-10 ☎027(254)5711
●前橋支部／前橋市石倉町4-9-10 ☎027(254)2755
●高崎支部／高崎市問屋町2-7-8 ☎027(362)1899
●太田支部／太田市浜町3-6 ☎0276(46)9596
●桐生支部／桐生市錦町3-1-25 ☎0277(45)3301
URL http://www.gunma-kyosai.or.jp/
E-mail info@gunma-kyosai.or.jp

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。